

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY PERSONAL新大阪校				公表日	2026年 2月 19日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	半個室が設けられている点が良いと思います。	今後も、限られた空間の中で取り組める課題を引き続き工夫していきます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	適切に配置されています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	プログラム終了後は、すべての教具を教材庫に片付け、環境を整えてから次のプログラムを行っています。	トイレのドアが重く介助がしにくいので、指はさみを防止する工夫を行う必要があるので検討していきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	清掃などを徹底し、清潔な空間を保っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	その日の課題を全員で共有し、話し合っています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	話し合いの場を設け、それに基づいて検討を行っています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	日々、些細なことも情報共有しています。	話し合いの時間を設け、引き続き意見を聞きながら、より良い支援につなげていきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	毎月研修を開催しています。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	お子さまの発達段階に合わせたプログラムを作成しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	客観的な分析に基づいて作成しています。	引き続き、保護者に外部検査等のアセスメント結果を共有していただけるよう協力を依頼します。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	担当者以外とも意見交換をしながら作成しています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	毎回、個別支援計画の内容を確認しています。	個別支援計画を必ず確認し、目標に沿って一つひとつ記録することを継続していきます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	検査結果や行動観察に基づいて作成しています。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	設定し、作成を行えている。			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	お子さまの発達段階が曜日によって異なるため、曜日ごとにプログラムを変更していません。基本的に運動や小集団のプログラムは毎月変更しており、曜日によっては2週間ごとに変更しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	運動活動・個別活動・小集団活動の3つを1つのプログラムに組み込んでいます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎朝のミーティングで情報共有を行うほか、昼休みや支援時間終了後にも、お子さまの課題やその日にできたことについて共有し、チームで連携して支援を行っています。	今後もその日に不在のスタッフにも内容が伝わるよう、工夫していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	支援終了後も打ち合わせの時間を設けています。	今後も、時間の使い方を工夫しながら行っていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日々、記録をとり原則として、その日のうちに保護者へ記録を公開しています。	支援改善につながる記録の書き方を、引き続き意識していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	5	0	実施しています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	お子さまに無理にさせるのではなく、自ら取り組みたくなるような支援の工夫をしています。	自己選択ができるよう、お子さまに合わせた工夫を引き続き行います。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	すべての担当者会議に、最も状況を把握している職員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	必要に応じて、医師や保健師などの関係機関と連携しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	行事や下校時刻の変更がある場合は、保護者から連絡をいただいています。送迎時の様子やトラブルについても、保護者と情報共有を行っています。	保護者を通じて学校へ伝えていることが多いため、必要に応じて学校との直接やり取りも行っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	児童発達支援と連携し、必要なやり取りを行っています。	必要に応じて保育所等訪問支援を案内し、支援につなげていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	該当者が出た場合には、対応していきたい。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	適宜、研修を受講しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		今後は、必要に応じて検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		今後も、時間の工夫を行い、積極的に参加できる体制を整えていきます。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	お子さまの発達や課題について、療育後に短時間でフィードバックを行い、共通理解を図っています。		

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	読み上げて説明しています。	今後も、内容が分かりにくい場合には、かみ砕いて伝えるなどの工夫をしていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	意向を確認する為に面談等の機会を設けております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	保護者には説明を行い、その際に同意をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	保護者からだけでなく、事業所からも面談の案内を行い、実施しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	3		今後は、ニーズなど応じて実施を検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	発生した場合は全員で共有し、改善に努めたいと考えています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月、1か月の成長について伝えたい内容をまとめてマンスリーレポートを発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報は鍵付きのロッカーで保管し、破棄する際はシュレッダーを使用しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	現在は、行なっていないが状況に応じて検討していきたい。	
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアルを策定し、事業所に掲示をしたりマンスリーレポートなどで周知をしています。
47		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	状況を把握し、事業所内で研修や訓練を行っています。	今後も、契約時などで聞き取りをし把握をしていきます。
49		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	食事の提供はしていませんが、調理実習や感触遊びを行う際は、事前に保護者および本人へアレルギーの確認をしています。	
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	必ず全員が受講するようにしています。	
51		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	その都度、お迎えに来られた保護者とやり取りを行っています。	安全計画に関しては、マンスリーレポートにも記載はさせていただいていますが今後は、他の方法での周知も必要に応じて検討していきます。
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	その日に発生したヒヤリハットはすぐに報告し、対応策を検討しています。	
53		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	研修・訓練を受けています。	今後も、セルフチェックをする機会を設けていきます。

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		今後も、契約時などご説明等をしていきます。
--	----	--	---	---	--	-----------------------